

(報告)

丹後地域の府立高等学校の校名検討について

丹後地域の府立高等学校の校名検討について、下記のとおり報告します。

平成31年 1月15日

教育長 橋本 幸三

記

丹後地域における府立高校の再編に伴う設置高校名

1 校名の考え方

- ・職業学科単独高校以外の高校名称は、地名等地域性を表すものであること。
- ・京都フレックス学園構想に基づく高校名称は、当該校のコンセプト・教育スタイルを反映させたものであること。

2 校名案

| 対象校 | 校名案 | 理由等 |
|-------------------|--|---|
| 宮津・加悦谷 | 京都府立 <small>みやづてんきょう</small> 宮津天橋 高等学校 | かつて丹後地域のほとんどを領した「宮津藩」の藩校から、地域に多くの有為な人材を輩出し、明治以降の丹後の学びの基盤となっていることなどから、広域的な地域を象徴する「宮津」の名を継承する。「天橋」は「天橋立」のことであり、2つの学舎が架け橋によってつながり、相乗し合いながら、これまで培ってきた教育をさらに充実・発展させていってほしいという願いを込めている。 |
| 網野・久美浜 | 京都府立 <small>たんごりよくふう</small> 丹後緑風 高等学校 | 広く地域を表す「丹後」の名称に、緑豊かな網野・久美浜の大地を吹き渡る風、網野と久美浜地域を結ぶ日本海から吹く浜風を表す言葉として「緑風」を合わせ、丹後から新しい教育の風をおこしてほしいという期待を込めている。 |
| 京都フレックス学園構想に基づく高校 | 京都府立 <small>せいしん</small> 清新 高等学校 | 「清新」は新しく生き生きとしていること、爽やかなさまを表す。学校のコンセプトである「つつむ×みがく＝かがやく」のとおり、爽やかな風が吹き抜ける奈具丘にたつ新しい学びの場で、生徒一人一人が、生き生きと輝いて学校生活を送って欲しいという願いを込めている。 |